

## 「卒業20周年記念同期会」

鴨田美抄子（旧姓久保・演劇戦線・平成6年卒）

平成26年10月11日（土）小樽大和家本店において、私たち平成2年入学生は、「ほぼ卒業20周年記念同期会」を開催しました。

参加者は36名。当日は、3連休の初日で、札幌、小樽以外からも、根室、中標津、苫小牧、滝川、さらには、東京、中国広東省という遠方からも、懐かしの小樽に舞い戻ってきました。

宴の司会は、硬式庭球部で幹事長の研谷敦君。乾杯の発声は、自動車部で体育会会長の鎌田徹君が務めました。早速あちこちで楽しい会話が飛び交う中、フィリピン在住でCPUの土屋（旧姓近藤）さんとSky peでつなぎました。土屋さんが「ぜひ、みんなと乾杯したい」と言い、2回目の乾杯を全員でしました。こういう形での参加もとても嬉しく思いました。

そして、幹事で指名した方が、近況報告など挨拶をしました。懐かしい現役時代の話、そして学生の頃のお酒の席での経験が、社会に出てからも生かされているという話。また小樽で集まりたいと嬉しい話が続きました。

宴の最後は、いつもの若人逍遙の歌です。前口上からのエールを、中国から駆け付けた、漕艇部兼応援団の加屋野学君が務めました。胸に響く口上の下にみな肩を組み若人の大合唱となりました。

そして、20年ぶりの再会を果たした一次会は、ゴルフ部の菊池正記君の一本締めで、終わりました。

二次会は、マルジェ・ナオ。31人とほとんどの方が出席しました。みな共通の思い出である、入学して初めての定山溪での研修、単位の取り方、水泳、スキー授業のことなどで盛り上がりました。また、ママの計らいで、出入り自由にしてもらい、現役時代お世話になったお店に挨拶に行く人達もいました。

三次会は、レノンセンスに場所を変え、より深い話に突入していきました・・・。

最後の締めは、久松と決めていたのですが、まさかの定休日。近くのラーメン屋でみんなのお腹を満たした後、それぞれ宿泊先へ帰って行きました。

また5年後10年後、こうした集まりを小樽で開催できたらいいなと思います。ご参加くださった皆様、また今回残念ながら欠席となった皆様、温かい言葉をありがとうございました。また必ず小樽で会いましょう。

**軟式庭球部、阿部美可（旧姓福原）さん**

小樽の街を歩いていたら、当時うれしかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、若気の至りで恥ずかしかったこと等々が思い出されました。

**会計研究会、大崎直樹君**

楽しい時間を過ごすことが出来ました。今回来ていなかった同期と一緒に飲んで、次回の集まりに誘ってみようと思います。

**漕艇部兼応援団、加屋野学君**

非常に小樽を満喫しました。同期会、翌 12 日の応援団行事はそれぞれ違った楽しさがあり、来て良かったと心から思いました。

**水泳部、体育会、尾崎朗子（旧姓西尾）さん、今回欠席。**

大学生に戻ったみたいな同期会だったんだね。参加できたら、楽しかったらうな。